

めざす子ども像

幼小中・地域の確かなつながりの中で 自ら考え、未来を切り拓く子ども

取組目標

協議会と学校の連携を密にし、地域に発信していく取組をしながら、地域の方々と子どもたちが一緒に参画できる場の提供と企画をする

【今年度の取組紹介】

①この時期・この時をこの地域で良かったと思える、しいては「自信」につながればと始めた放課後学習（英語・数学・国語）も、少数の参加ではあるが、地域の方の継続的な指導で3年を迎えました。特に今年は参加する生徒も定着しテストの結果が良かったと報告に来る子や指導教科以外の教科を聞きに来ることも。地域の方と生徒との信頼関係が「自信」に繋がってきているのかと思われま



放課後学習の様子



ホタルフェスタで中学生による
お茶席の様子

②広報活動の一つとして、「ホタルフェスタ」を発足以来開催していますが、地域の方々の力が大で、子どもたちの参画をどのように呼びかけるかが、一つの課題でもありました。今年は、事前の呼びかけのみだけでなく、当日その場で呼びかけ、お手伝いから参画したいと感じ取ってもらい、しいては「積極性」につながればと開催。結果多くの児童・生徒から「来年もやらしてな」の声に来年が楽しみです。

【今年度のまとめ】

以前に増して、気軽に子どもたちと会話ができるようになってきたと思われま

【来年度に向けて】

これまでの取組を継続しつつ、さらなるバージョンアップめざしていきたいです。その為にも、地域の人材発掘に力を注ぎたいです。

めざす子ども像

幼小中・地域の確かなつながりの中で**自ら考え、未来を切り拓く子ども**

取組目標

地域を愛し、地域に誇りを持ち、自ら学び、考え、判断し手応えのある夢を持ち、たくましく生きる子どもの育成**【今年度の取組紹介】**

・授業において「繋がり合い、学び合う集団」を育成するため、計画的に校内授業研究会を実施し改善に努めました。また、広く地域や保護者にも公開し、理解と協力を得ました。

・未来を担い自立できる生徒の育成を目指し、本年度も生徒自ら考え取り組む事業を行いました。具体的な内容として、リーダー育成のため生徒会が中心になって行うリーダー研修会、クリーン作戦などを実施しました。特に、プロジェクト「ひまわり」では、生徒会・保護者・地域が一体となって、阪神淡路大地震の中から育った「はるかひまわり」を育て、採取した種を、校区だけに止まらず、「いじめサミット」などで他校にも配布しました。1学期にちゃんへんさんをお招きして行った人権講演会では「あきらめない心」をテーマ



に「自分の夢」を考えるよい機会になりました。

・キャリア教育の一つとしての職場体験学習の事業所開拓や事業所の休業日における環境整備事業（花壇の整備）に協力を得て取り組みました。

・日常的な学校生活における支援の充実として、職員会議中の部活動見回り隊や図書館ボランティアによる図書館の整理等にも取り組んでいただきました。また、昨年度より図書室を地域にも開放し多くの方に来校していただきました。

・学力向上プロジェクトとして国語、数学、英語の3教科で月、水の放課後、土曜日の午前中に地域在住の指導者を招き、基本でつまづく子供たちに学習の場所を提供し基礎学力の向上に努めました。

【今年度のまとめ】

・今年度もコーディネーターや多くのボランティアの方々からの支援を受け、一つ一つの取組が計画的に進められました。また、一層の工夫と改善を加えていただきより充実したものになりました。特に学力向上プロジェクトも軌道にのり、少数ではありますが生徒にも定着してきました。

・広報紙の発行をはじめ、ホームページの充実を図ることで、これまで以上に協議会の取組の啓発が進みました。

【来年度に向けて】

・来年度は、「学力向上プロジェクト」について教科数を増やしたり、デジタルドリルを使用したりして、さらなる改善を加え地域と連携して取り組む予定です。地域の方の講師を探すことが困難ですが、コーディネーターを中心に進めていきます。

・「ホタルフェスタ」など校区の幼小中が連携して取り組める事業を模索し実行することや、地域の「夏祭り」等を通して小中一貫教育の一役を担っていきます。

めざす子ども像

幼・小・中・地域の確かなつながりの中で自ら 考え、未来を切り拓く子ども

取組目標

地域で子どもをはぐくみ、子どもで地域がつながる
～自ら学び、考え、行動するやさしくたくましい子どもの育成～

【今年度の取組紹介】

入学まもない新一年生の下校の引率や校外学習の補助、キャリア教育や防災教育の推進など、地域の皆様と協働することにより、効果的な教育活動を実施することができました。様々な場面で、子どもたちは地域の方々と関わりを持つことにより、学校内だけではなく、地域の中で、親しみを持って地域と関わることができました。こども園や他団体との交流により地域とのつながりを深めることができました。



昨年度からキャリア教育と関連付けて株式会社「鶴舞フラワー」の活動に取り組んでいます。地域の方とともに種から花の苗を育て販売したり、ハーバリウムを作成し販売したりしました。当日販売するだけでなく、原価計算・売価決定・値札作り・ポスター作り・売上金計算・利益計算などを行いました。



また防災教育の一環として地域の方に、高学年の子どもに講義いただきました。それをもとに「避難所キッズスタッフとして自分たちにできること」を考え、音楽会のあとに地域の方や保護者の前で発表しました。児童集会では、低中学年の子どもたちにわかりやすく発表してくれました。



昨年度に続き民生委員の方と連携して校区のお住まいの独居老人の方に運動会の招待状を送り、多くの方に運動会を参観していただきました。

読書好きの子どもを増やし、進んで読書をしたいという思いを育てたいと、図書ボランティアの皆さんに、毎月、それを子どもたちに紹介するなど環境整備に取り組んでいただき、誘い合っって図書室を訪れる子どもたちの姿が増えました。

全校の子どもたちの大切にしたいことを集め歌詞としてまとめ創り上げた歌のCDを作成し、「感謝の気持ちを伝える集会」で地域の皆様にお披露目することができました。

【今年度のまとめ】

鶴舞フラワーの活動では、地域の方のご指導により仕事体験ができました。利益金を活用し、新1年生をお迎えするチューリップの球根を購入し、1年生が育てています。

地域の皆様のご支援により自分たちが安心して毎日の生活を送ることができていることに気づき、「感謝の気持ちを伝える集会」で地域の皆様に感謝の思いをお伝えすることができました。

地域の方のご支援をいただき、鶴舞オリジナルソングのCDを作成することができました。

【来年度に向けて】

次年度は、子どもたちの読書への関心をいっそう高めるために、引き続き読書活動に力を入れていきたいと考えています。鶴舞フラワーの取組を希望者から全校体制での「教室と社会をつなぐ」活動になるように「ぼうけんの森」の活用・整備とともに計画していきたいと思っております。毎年、多くの費用と活動をいただいている学校環境の整備についても、子どもたちが、豊かな気持ちになり、誇りに思える美しい学校を維持できるように、コミュニティ・スクールとして地域の皆様との協働をより一層充実させていきたいと考えています。

めざす子ども像

幼小中・地域の確かなつながりの中で**自ら考え、未来を切り拓く子ども**

取組目標

地域で子どもをはぐくみ、子どもで地域がつながる**～自ら学び、考え、行動するやさしくたくましい子どもの育成～**

【今年度の取組紹介】

◆学習推進事業 「命の学習」

1年生と平城西幼稚園児を対象に、「命の学習」を秋に行いました。獣医師の先生方から犬やウサギなどの動物を連れてきてもらい、地域の方や保護者の協力のもと動物劇を鑑賞し、聴診器で動物の心音を聴くなどの体験を行いました。初めての体験で感動と驚きの声があがった1時間でした。



動物に触れる児童と園児たち

◆読書推進事業

今年度は、学校図書館の環境を整えることに重点的に活動しました。特に読み聞かせの本などは大きさも様々の本でも収納できる様、棚を可動式にしました。今まで収納できなかった本がまっすぐに立てて収納できるので、児童は自らすすんで本の整理をしています。昨年掲げられた物や飾りも更に見栄えが良くなり、益々快適な空間になっています。

【今年度のまとめ】

昨年度から引き続いている図書室の環境整備は、着実にすすんでおり、益々快適になってきています。児童たちは積極的に読書に親しんでいます。また体験的な学習推進や学習支援、環境整備などを計画的に進めることにより、充実した学習環境が整いつつあります。地域の方に助けていただきながらこれらの活動を通じて、児童は健康で幸せな学校生活を送られています。

【来年度に向けて】

来年度も地域の方の協力を得ながら学習環境や体験活動の充実を進めていきたいです。また、キャリア教育の視点を重点に据え、新たなゲストティーチャーを発掘し、野菜の栽培や学校環境整備事業を充実するなど、地域との連携を密にした活動を進めていきたいです。

めざす子ども像

幼小中・地域の確かなつながりの中で 自ら考え、未来を切り拓く子ども

取組目標

様々な感動体験を積み重ね、豊かな心や身体、主体的に取り組もうとする意欲を育み、親子、地域がともに楽しめる幼稚園づくりをする。

【今年度の取組紹介】

ハロー・イングリッシュ 年3回 ※小学校のハローイングリッシュ講師

英語の音楽に合わせて動いたり手遊びやゲームをしたりする中で、英語に親しみを抱き、話すことや聞くことが楽しめるような内容で年3回実施しました。幼児は、先生に教えていただいた歌を口ずさんだり、友達と遊びの中で一緒に楽しんだりするようになりました。



親子陶芸教室

遊びの中でいろいろな粘土遊びを楽しんだことを生かし、親子で陶芸を楽しめるようにしました。親子で作りたいものを会話しながら取り組めたことは、親子ともに心から楽しめる活動となりました。焼きあがった作品は園内作品展で地域の方々にも見ていただけるように展示しました。

感動体験の積み重ね

稲や野菜の栽培 園の畑で四季折々の野菜作りを地域の方に教えていただき

ながら行っています。収穫物は家庭に持ち帰り食事やお弁当のおかずとしていただくことで、野菜嫌いの子もたちが減ってきています。また今年度は、稲を育ておはぎパーティーをしました。野菜などの生長を通して収穫の喜びを味わい、食育につなげることができました。



【今年度のまとめ】

- 「ハローイングリッシュ」「いちご組未就園児保育」「お話会」「体操教室」「栽培活動」などは、地域の教育力を活用し様々な人との触れ合う中で、専門性を生かしたより豊かな内容と人の温かさを十分に感じたことで、幼児・保護者・未就園児が心から楽しみ、生き生きわくわくしながら活動に取り組むことができました。未就園児と在園児がかかわりを持つ中で、相手を思いやる優しい心や年長者としての自信となり、幼児の主体性や積極性の向上につながりました。
- 地域や様々な人との心温かな触れ合いは、幼児に感謝の気持ちや人とかかわる心地よさ、思いやりの気持ちなどを育みます。自分から進んで挨拶をしたり話しかけたりすることで、幼児にコミュニケーション能力を育むことができました。
- 体操、絵本、英語、制作等、園内外で経験したことを遊びの中に取り入れ、遊び方を考えたり友達と相談したりして遊んだことで、主体的に取り組む姿や意欲的に遊ぼうとする姿が増えました。

【来年度に向けて】

- 休園の為、省略します。

めざす子ども像

幼小中・地域の確かなつながりの中で自ら考え、未来を切り開く子ども

取組目標

**子どもたちの興味・関心に基づいた直接的・具体的な体験活動の実施
子どもが主体的に活動できる環境構成****【今年度の取組紹介】****<地域とのふれあい>**

地域の方をゲストティーチャーとして招き、栽培から収穫まで関わっていただき、サツマイモやタマネギ、マリーゴールドを育ててきました。コーディネーターが地域の商店と園をつなげてくださり、タマネギやマリーゴールドの販売を積み重ねたことで、よりよく買っていただく方法として子どもたちなりに考え、商品を持ってお客様に声をかけるなど、工夫する姿が見られました。また地域のパン屋さんが、園のタマネギを使ったパンを商品化してくださったことも、自己肯定感が高まりキャリア教育につながる貴重な体験となりました。

<小学生との交流>

年間計画的に行っている幼小連携の活動に加え、今年は小学校3・4年生と5歳児が同じ曲を使ってエイサーを踊ることになり、教頭先生にパーラックの打ち方や踊り方をご指導いただきました。さらには3・4年生が来園し5歳児と一緒に園庭で踊るという取組を行いました。3・4歳児もパーラックに触らせてもらったり、踊り方を教わったりして自然な交流となりました。ますます小学校への憧れや期待が膨らみました。

**<藍染に挑戦>**

コーディネーターの方からいただいた藍の種を蒔き育てていくうちに藍の葉っぱから出てくる色が他とは違うことに気づいた子どもたちは、「この色、何かに染められないかなあ」と興味を示しました。藍染など誰も経験がなくてどうしたものかと考えていた矢先、染め物経験のある保護者の方から声をかけていただき、藍染に挑戦することになりました。親子で布を絞り藍で染め上がったハチマキでエイサーを踊りました。また作品展では絞り染めをした布でジンバイザメを制作しました。子どもたちにとって発見・探求・感動となる体験でした。

**【今年度のまとめ】**

取組紹介の他にも、新しい事業として「サッカーで遊ぼう」に取り組み、柔道教室と合わせて子どもたちの運動能力の向上につながりつつあります。これまで積み上げてきた取組の中から、つながりが広がったり、新たな技能の持ち主が保護者の中から見つかったりと、子どもたちにとっての興味・関心をかき立て、自ら学ぼうとする意欲や心情、態度がさらに育ってきました。

**【来年度に向けて】**

今年度は、地域の方とのつながりが広がったことを感じる事ができ、子どもたちにとっても充実した一年となりました。「つまいっ子だより」やホームページで積極的に取組の様子を発信し、地域・こども園・家庭がつながり、幼児期の子どもたちが生活する場として、ふさわしいこども園でありたいと思います。